

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 丹波ひとまち支援機構	代表者名	代表理事 久 隆浩 戸田 幸典
事業名	丹波「社会的つながり」プロジェクト (TAMBA Social Relations Project)		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2021年10月3日	丹波「社会的つながり」プロジェクト キックオフイベント ・会場：丹波市市民プラザ ・参加者：35名 ・ゲスト：丹波市子ども・若者サポートセンター センター長 後藤 光さん 沼貫地区自治振興会 会長 打田 哲夫さん ・グループ交流等
12月4日	丹波「社会的つながり」プロジェクト #1交流会 ・会場：丹波市市民プラザ ・参加者：25名 ・テーマ：食を通じたアウトリーチ ・ゲスト：柏原地域支えあい推進会議 委員長 田中義人さん どんぐり食堂代表 足立美樹さん ・グループ交流等
2022年3月6日	丹波「社会的つながり」プロジェクト 2021年度報告会&シンポジウム（オンライン） ・会場：zoom及び丹波市市民プラザ ・参加者：39名 ・報告『2021年度のプロジェクトを通して見えてきたこと』 法橋 聡・戸田幸典（NPO法人丹波ひとまち支援機構） ・基調講演『これからの支えあいと「社会的つながり」に必要なこと』 藤井 博志さん（関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 教授） ・ディスカッション『「社会的つながり」を生み出すための連携・協働』 藤井 博志さん（同上） 田邊 和彦さん（社会福祉法人丹波市社会福祉協議会 次長（地域福祉担当）） 小畠 崇史さん（丹波市まちづくり部 市民活動課 課長） 法橋 聡（注文をまちがえる喫茶店「だんない」実行委員長ほか）

<効果と成果>

本プロジェクトは2021年10月のキックオフイベントを皮切りに、内外からの注目度を高めながら、丹波市域にまたがるムーブメントとして展開してきました。具体的には、市民活動団体や住民自治組織が、この間、丹波市域で実施してきた活動事例を収集・記録するとともに、さらに交流会や情報発信を通してこれら活動の価値や今後活かすべきヒントを「地域自治の共有財産」として公開・共有し、「社会的つながり」をより多く地域に生み出そうと取り組んできました。併せて、こうした展開を通し、市民活動や住民自治の担い手の相互連携や「つながり」も強くしていこうと考えました。

こうした中、ごく一部ですが、他団体の活動をヒントにして新たな「つながり」取り組みを始めた事例も誕生しつつあり、また、交流会などを重ねる中で、従来接点のなかった担い手間の連携・協力も少しずつ進んでいます。今後も本年度と同様の展開を継続する中で、こうした広がりを期待しているところです。

また、コロナ禍だけでなく、将来にわたり噴出してくる様々な地域課題に対応していくには、課題解決のための事業(活動)を地域の中で具体化させ、地域自治の力を高めていくことが求められます。本プロジェクトをきっかけにこれら事業(活動)の具体化を促す「新たな仕組みづくり」も進めていきます。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	300,000
寄付金	35,250
自己資金	8,843
合計	344,093

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	謝金	188,000	188,000
	通信費	94,544	50,451
	印刷費	50,749	50,749
	その他(会場費等)	10,800	10,800
	小 計	344,093	300,000
間接経費(一般管理費)		0	0
合 計		344,093	300,000